

## 令和4年度恵庭市文化協会文化振興賞

■<sup>おぼた</sup>小幡トモエ 様（恵庭吟友連盟—日本詩吟学院北海道樽前岳風会恵庭支部）

平成14年入会。家庭の主婦として家事のかたわら、吟詠を生涯の趣味として自学研鑽に励み他会員の模範となっている。平成26年から30年まで支部監事、同29年担当師範、同30年からは支部指導員として会員の指導、会運営に貢献。支部及び連盟の各種大会・行事はじめ文化祭等にも吟者・役員として出場し、支部発展と恵庭の文化向上に寄与。現段位は10段、師範。

■<sup>かわかみ</sup>川上 百合子 様（恵庭民謡連合会）

昭和56年入会。41年間在籍している。平成19年に北海道民謡連盟公認唄資格8段位取得。平成29年から令和元年まで3年連続で全道大会出場を果たし、恵庭の民謡の層の厚さ、レベルの高さを全道に示すなど、民謡文化の発展に寄与。

■<sup>つゆき</sup>露木 陽子 様（恵庭美術協会）

平成3年、絵画サークル「えのぐ箱」入会。同16年、美術協会に入会し、画歴通算31年となる。この間、平成5年には3人展（市民会館）、翌6年から18年まで新道展入選5回に及ぶ。このほか、美術協会展、文化祭等地元展覧会にも積極的に参加し、会員の中でもひとときわ斬新で新鮮な画風が注目されるなど、恵庭の美術文化発展に寄与。

■星野 孝司 様（／恵庭吟友連盟—日本詩吟学院恵庭樽前岳風会恵庭支部）

平成14年入会。吟詠を生涯の趣味として自学研鑽に励み他会員の模範となっている。平成28年から31年まで支部会計長、同30年からは支部指導員として会員の育成指導に大きく貢献されている。入会以来、支部及び連盟の各種大会・行事はじめ文化祭等にも吟者・役員として出場し、支部発展と恵庭の文化向上に寄与。現在10段。師範。